

美しい瞬間。

輝く朝の光の中

巨大な橋桁をかかげて

国内最大の起重機船が近づいてくる。

河口からゆっくりゆっくりと。

新町川の兩岸には

その壮大な営みを見届けようと、大勢の人々。

船が橋脚まで近づき

風に揺れる橋桁が慎重に慎重に下されてゆく。

長い長い時間をかけて下されてゆく。

なんとという力強さ、荘厳さ、そして精緻さ。

固唾を飲んで見守った架設完了の瞬間

人々からあがる感動のどよめきが

黄昏ゆく冬の空に響いた。

人と技術がひとつになった美しい瞬間。

私たちの技術は人のために生まれ、そして使われる。



写真提供:国土交通省徳島河川国道事務所

つなぐのは「命の道」

地域経済の活性化に資するインフラとして、また、南海トラフ巨大地震をはじめとする災害時の「命の道」として、全長約810kmの高速道路ネットワーク「四国8の字ネットワーク」(四国縦貫自動車道、四国横断自動車道、高知東部自動車道、阿南安芸自動車道)の整備が進められています。

四国横断自動車道のうち、阿南市の阿南IC(インターチェンジ)(仮称)から徳島市川内町の徳島JCT(ジャンクション)までの22.4kmが徳島南部自動車道。徳島市内の慢性的な渋滞の緩和、医療機関への搬送時間の短縮、利便性の向上による産業の活性化、県南への観光アクセスの向上、災害時の避難や緊急輸送など様々な効果が期待されています。

知恵と技術と労苦の結晶

2020年12月5日、徳島南部自動車道の徳島津田ICと徳島沖洲ICのほぼ中間に位置する新町川で、架橋の大工事が無事完了しました。新町川橋は、橋長500m、支間長250mの鋼3径間連続鋼床版箱桁橋。250mの支間長は連続箱桁橋として国内最大級。この日架けられたのは161m長の中央ブロックで、4つの橋桁の最後の施工でした。工事には国内最大の起重機船「海翔」が出動。朝陽の中、4100t吊りの巨大なクレーンで2900tの橋桁を吊り下げ、数隻の曳航船に伴われて沖合から現れた「海翔」は、風の吹く厳しい気象条件下、ほぼ1日をかけて、ミリ単位の精度の求められる大仕事を成し遂げました。早朝から夕方まで、兩岸に大勢のみなさんが見守る中、最後の橋桁でつながった津田と沖洲。架橋完了の瞬間は大きな感動に包まれ、建設業の仕事の醍醐味を感じる瞬間でした。そして現場の陰には実に大勢の関係者の知恵と技術と労苦があることも記しておきたいと思えます。

地域の未来を創る

今、コロナ禍が社会に変革を求めています。東京一極集中から多核連携型の国づくりへと新たな一歩を踏み出すためには、地域間格差を是正し、地域の人や資源を活かすためのインフラ整備が必須です。都市からの人口流入・産業流入を促し、地域経済を活性化させるために、そして災害対策や観光促進のために、四国中をネットワークし、生き生きと動かさねばなりません。

私たちは「四国8の字ネットワーク」をはじめとするインフラ整備や、災害に強い国土づくり、被災地での復旧活動など、様々な現場で頑張っています。「私たちの頑張りが未来を創る」そんな使命感とともに、今日も一生懸命に。

BUILD & PROTECT あなたの街をつくる・まもる

一般社団法人 徳島県建設業協会

770-0931 徳島市富田浜2-10 tel.088-622-3113 <https://www.tokuken.or.jp>